

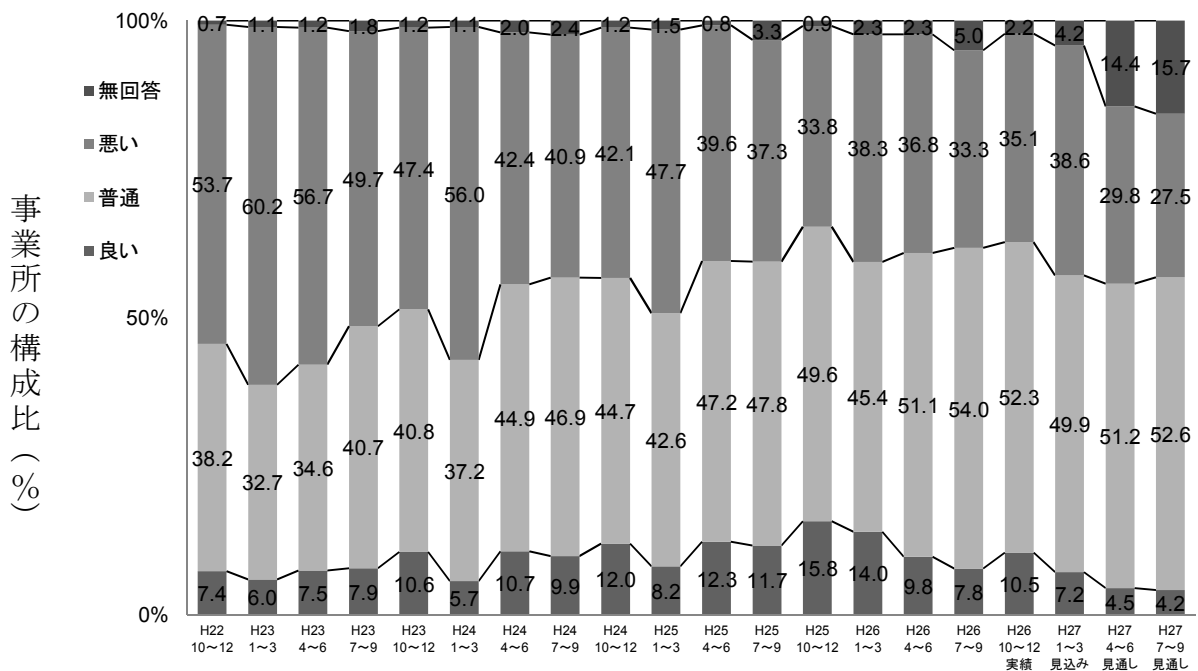
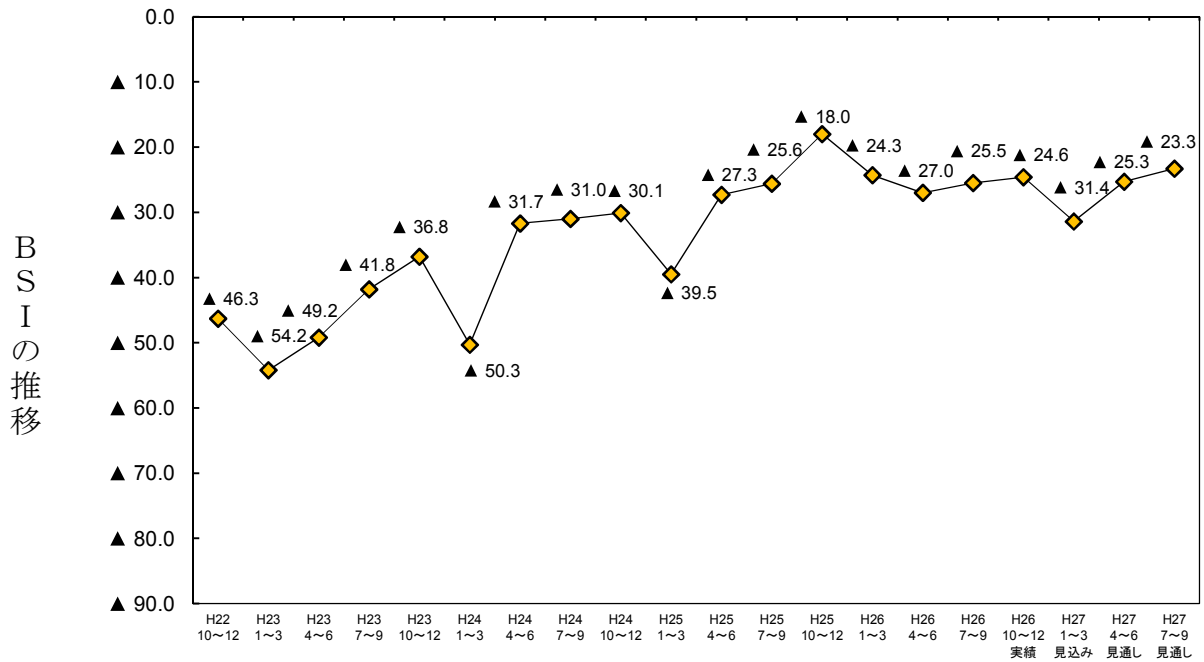
### 3. 調査結果

#### (1) 業況判断

##### ポイント

26年10～12月期の業況感を示した業況BSI（「良い」-「悪い」）は▲24.6と、同7～9月期の▲25.5から同水準で推移した。続く27年1～3月期は▲31.4と悪化した。先行きについてみると、同4～6月期は▲25.3と、6.1ポイント改善し回復に転じる見通しで、同7～9月期は▲23.3と、改善が続く見通しとなっている。

図1 業況判断BSI

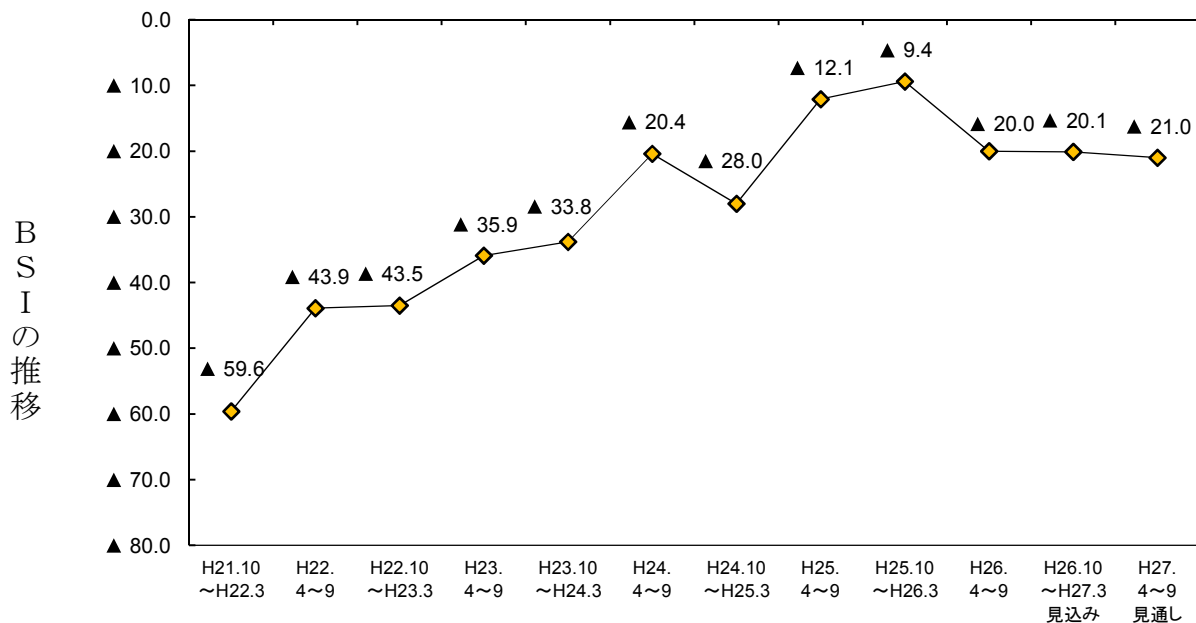


## (2) 生産・売上

### ポイント

今期の生産・売上BSI(「増加」－「減少」)は▲20.1と、前期(▲20.0)から同水準で推移した。来期も▲21.0と、同水準で推移する見通しとなっている。

図2 生産・売上BSI

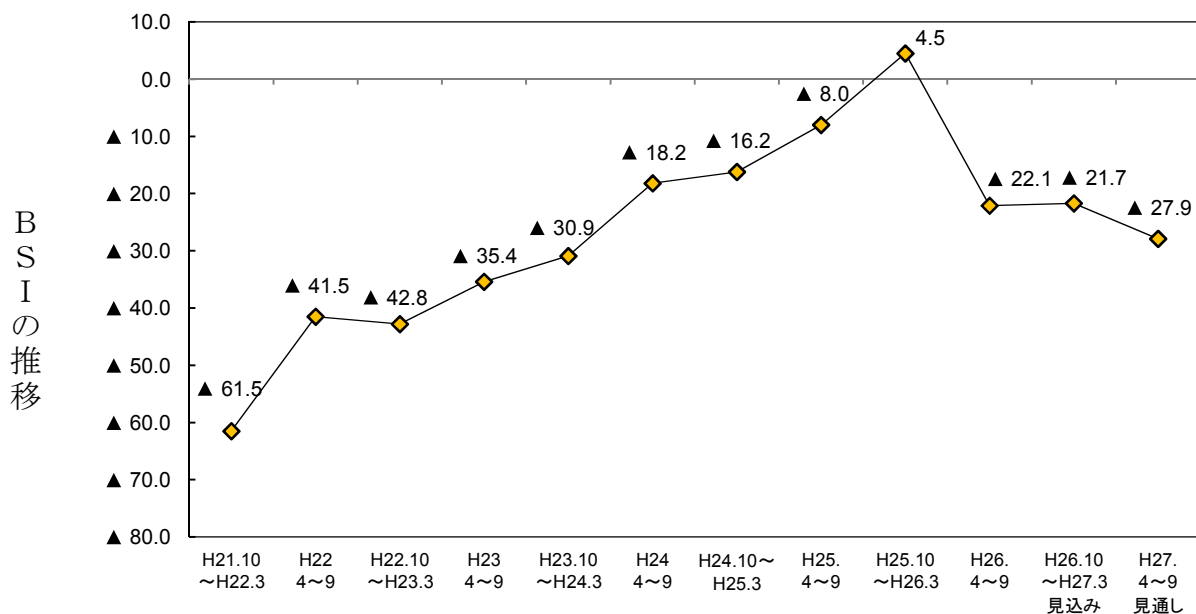


## (3) 受注(製造業・建設業のみ)

### ポイント

今期の受注BSI(「増加」－「減少」)は▲21.7と、前期(▲22.1)から同水準で推移した。来期は▲27.9と、低下する見通しとなっている。

図3 受注BSI

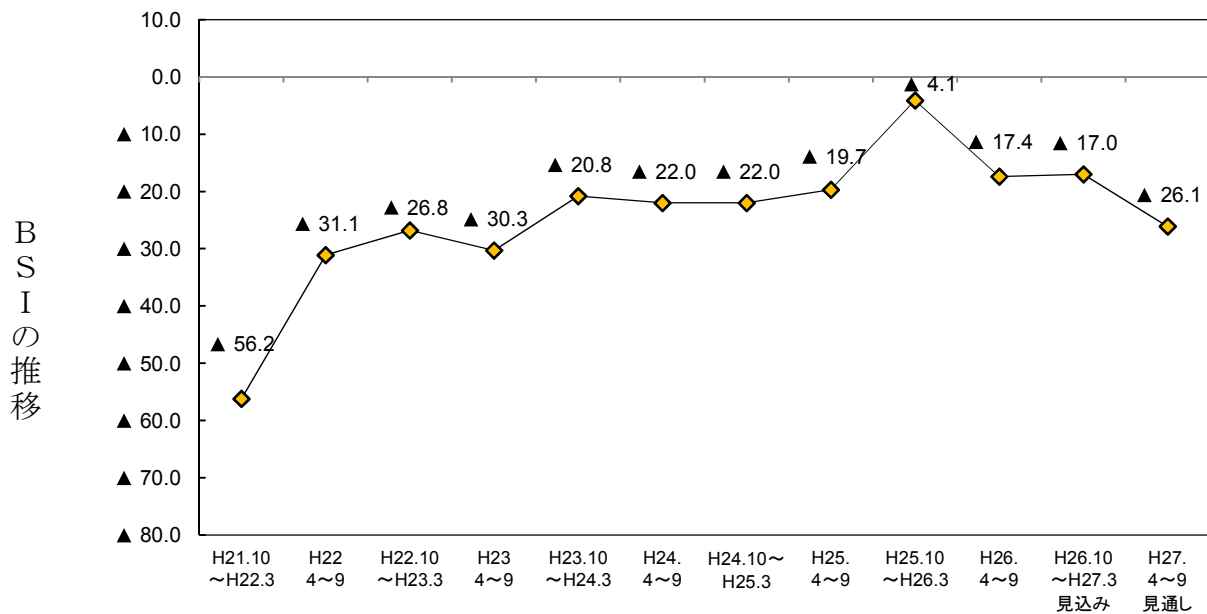


#### (4) 出荷(製造業のみ)

##### ポイント

今期の出荷量BSI(「増加」－「減少」)は▲17.0と、前期(▲17.4)から同水準で推移した。来期は▲26.1と、低下する見通しとなっている。

図4 出荷量BSI

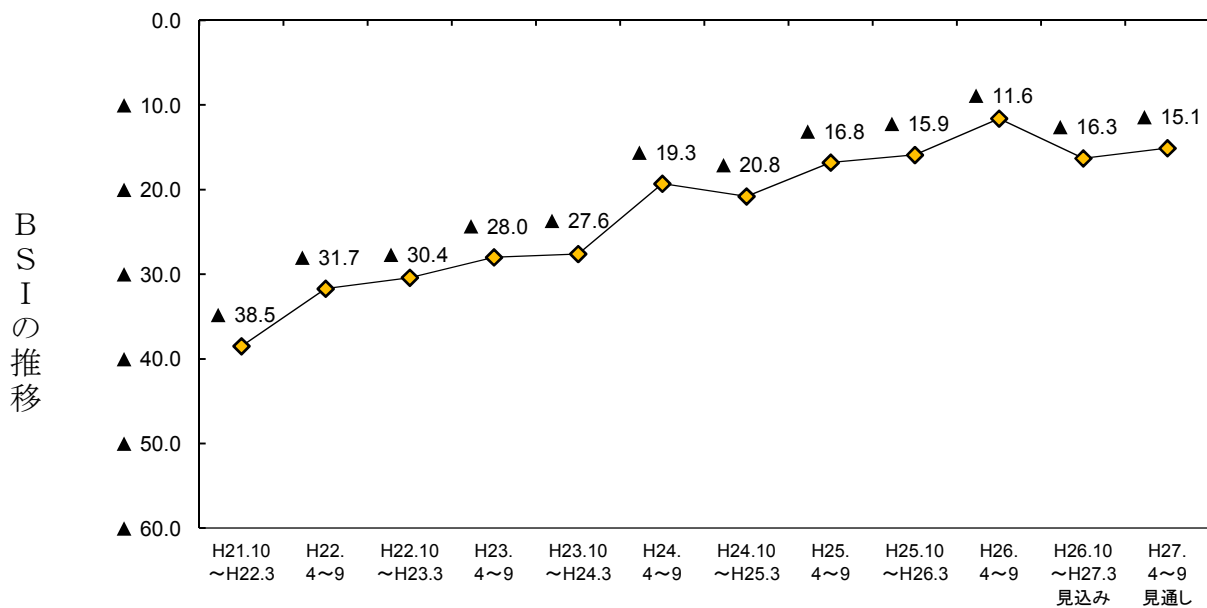


#### (5) 資金繰り

##### ポイント

今期の資金繰りBSI(「好転」－「悪化」)は▲16.3と、前期(▲11.6)から4.7ポイント低下した。来期は▲15.1と、上昇する見通しとなっている。

図5 資金繰りBSI



## (6)在庫(原材料在庫は製造業のみ)

### ポイント

- ・ 製・商品在庫BSI(「過剰」－「不足」)は1.9と、前期(1.2)から0.7ポイント上昇した。来期については、1.4となっている。
- ・ 今期の原材料在庫BSI(「過剰」－「不足」)は2.9と、前期(2.7)から同水準で推移した。来期は2.8と、同水準で推移する見通しとなっている。

図6-1 製・商品在庫BSI

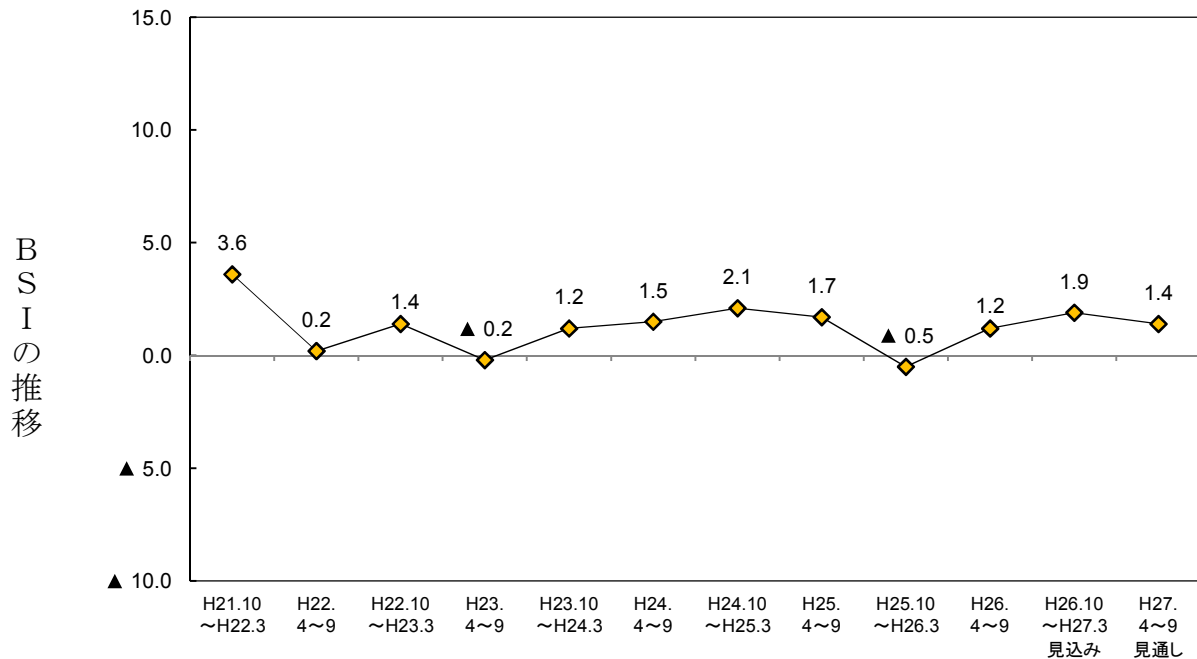
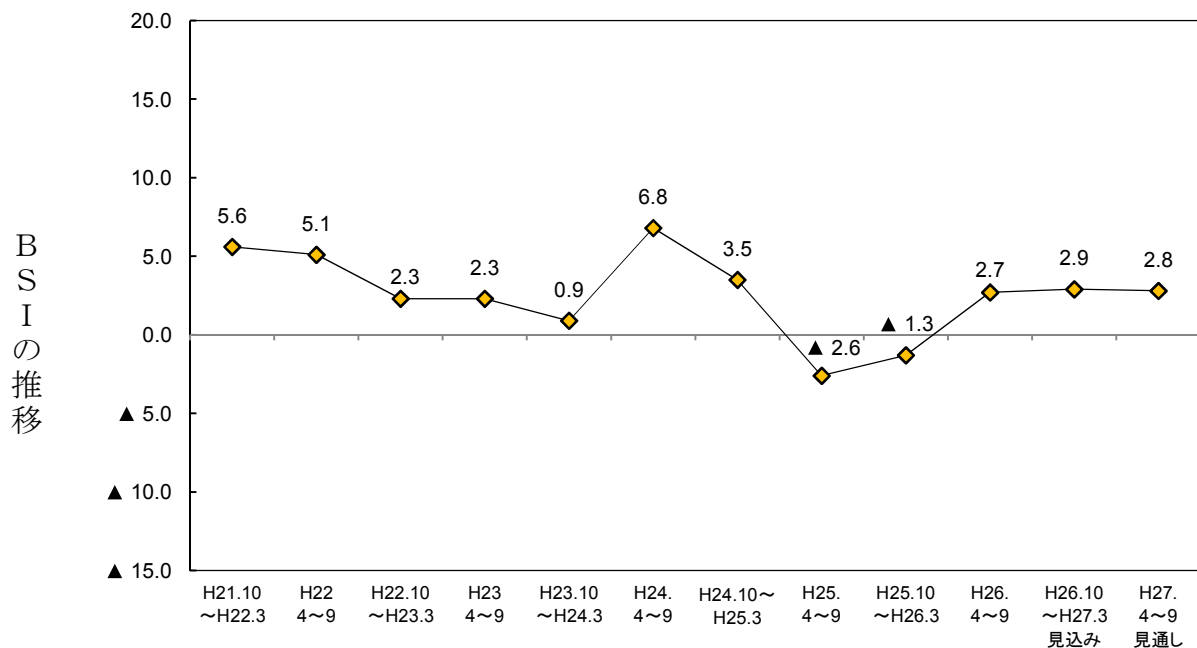


図6-2 原材料在庫BSI



## (7) 価格

### ポイント

- 今期の仕入価格BSI(「上昇」－「低下」)は、31.4と前期(40.3)から8.9ポイント低下した。来期については30.1と、引き続き低下する見通しとなっている。
- 今期の販売価格BSI(「上昇」－「低下」)は▲1.2と、前期(5.4)から6.6ポイント低下し、プラスからマイナスに転じた。来期は0.3と、再びプラスに転じる見通しとなっている。

図7-1 仕入価格BSI

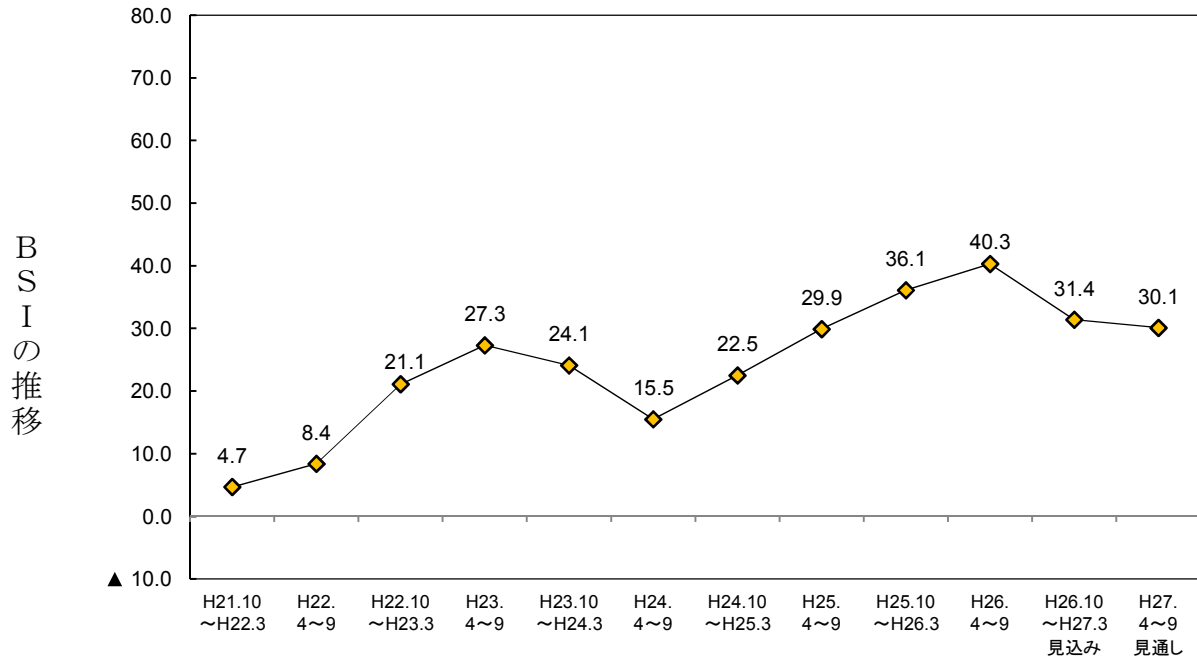
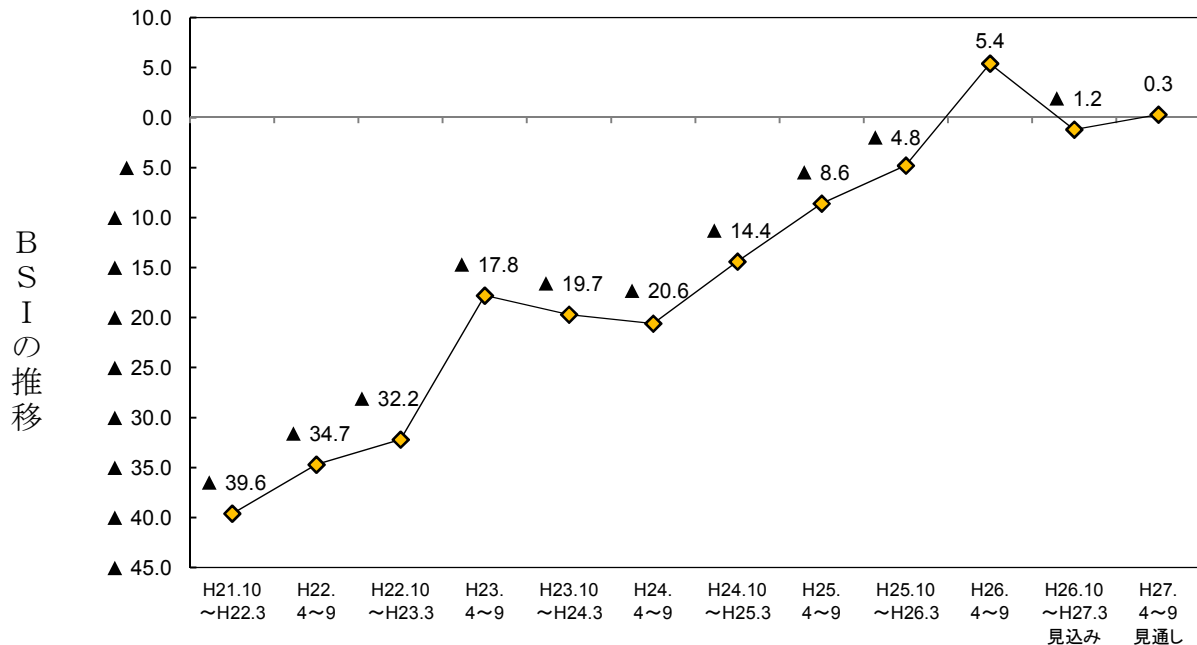


図7-2 販売価格BSI



## (8)雇用

### ポイント

- 今期の所定外労働時間BSI(「増加」－「減少」)は▲2.6と、前期(▲0.3)から2.3ポイント低下した。来期は▲6.0と、引き続き低下する見通しとなっている。
- 今期の一人当たり人件費BSI(「増加」－「減少」)は21.1と、前期(21.8)から0.7ポイント低下し、8期ぶりの低下となった。来期は18.0と、引き続き低下する見通しとなっている。

図8-1 所定外労働時間BSI

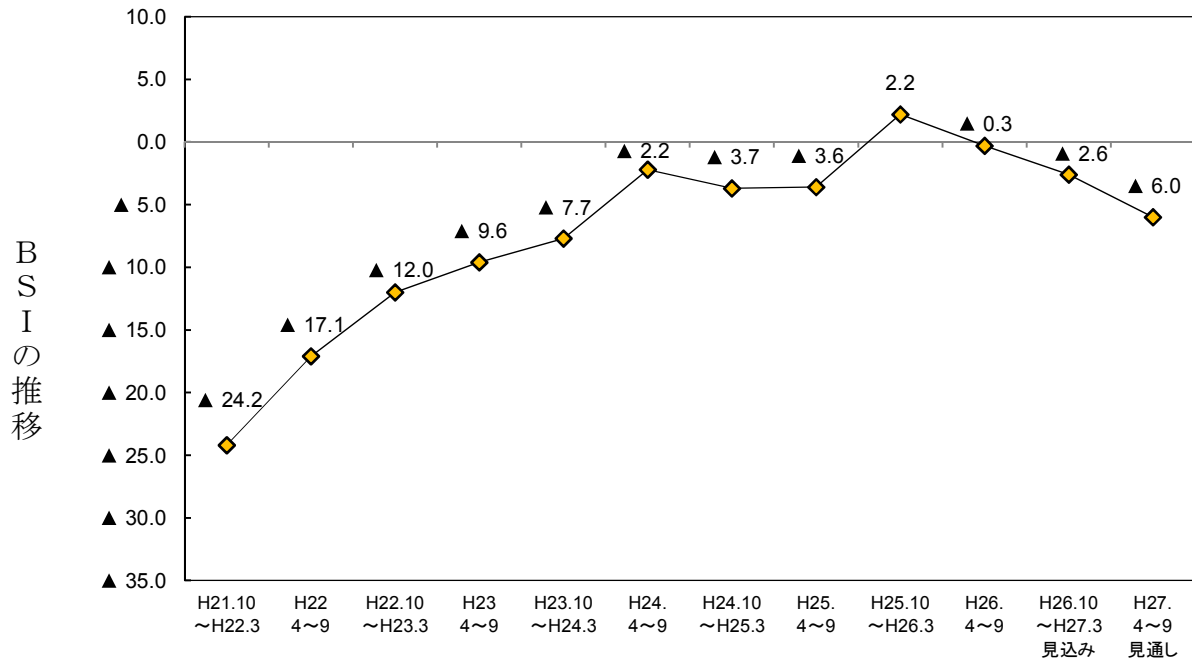
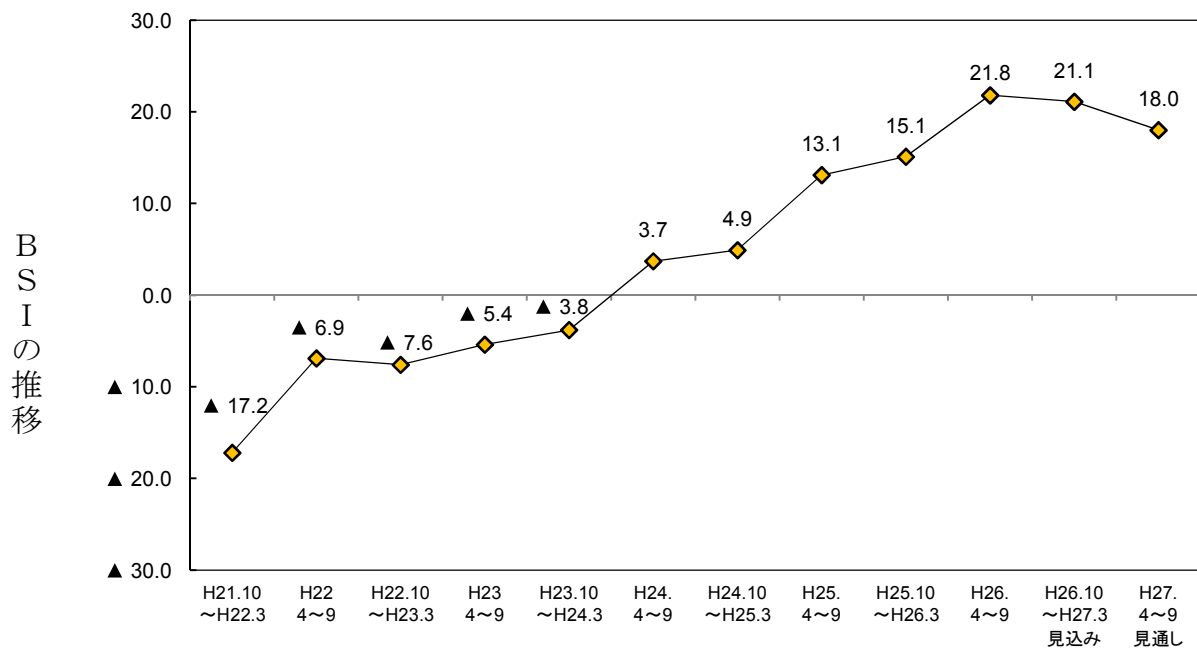


図8-2 一人当たり人件費BSI



## (9) 設備投資

### ポイント

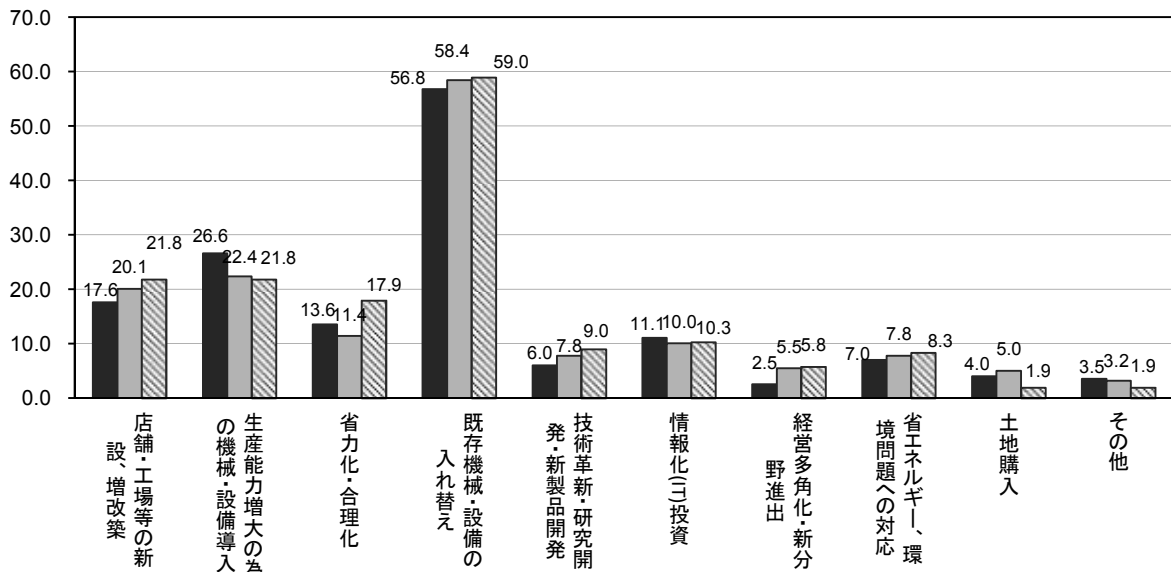
- ・ 26年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は24.7%と、前年度より3.0ポイント上昇した。来年度は18.3%と、低下する見通しとなっている。
- ・ 26年度の設備投資目的としては、「既存機械・設備の入れ替え」が最も多くなっている。

表9 設備投資の実施事業所割合と設備投資額の前年度比増減率

	設備投資の実施事業所割合 (%)			設備投資額の前年度比増減 (%)	
	平成25年度 実績	平成26年度 実績見込み	平成27年度 計画	26年度/25年度	27年度/26年度
全体	21.7%	24.7%	18.3%	49.8%	-32.3%
【従業者規模別】					
4人以下	5.2%	8.9%	4.6%	81.1%	-77.7%
5人～19人	16.1%	19.4%	10.2%	77.5%	-79.6%
20人以上	40.2%	41.9%	35.3%	46.2%	-25.0%
【業種別】					
製造業計	25.0%	28.9%	22.7%	56.7%	-2.8%
非製造業計	20.8%	23.5%	17.0%	45.0%	-54.2%
建設業	25.4%	28.3%	19.5%	50.1%	-50.2%
運輸・通信業	31.0%	31.0%	29.7%	48.1%	-52.0%
卸・小売業	15.3%	18.9%	9.4%	24.4%	-61.5%
飲食・宿泊業	15.2%	20.4%	14.1%	280.3%	-38.4%
サービス業	16.9%	18.8%	13.5%	7.4%	-67.9%

図9 設備投資の目的（複数回答）

■平成25年度 □平成26年度 ▨平成27年度



## (10) 経営上の問題

### ポイント

- 経営上の問題について、各項目の該当事業所割合は「人材不足」(41.0%)が最も多く、以下「仕入価格の上昇」(40.0%)、「生産・受注・売上げ不振」(34.6%)と続いている。
- 業種別にみると、製造業の各項目の該当事業所割合は「仕入価格の上昇」(50.7%)が最も多く、以下「生産・受注・売上げ不振」(45.0%)、「人材不足」(32.2%)となった。
- 非製造業の各項目の該当事業所割合は「人材不足」(43.3%)が最も多く、以下「仕入価格の上昇」(37.2%)、「生産・受注・売上げ不振」(31.8%)となった。

図10 経営上の問題(複数回答)

